八月から老令年金の支給

国民年金の老令年金の支払いはこの八月から行なわれます。

拠出制の国民年金制度が実施されてから十年が経過し、いよいよ待望の老令年金の支給が開始されることになりました。

その支払いは毎年、二月、五月八月、十一月にそれぞれその月の前月までの三ヵ月をまとめて行なうことになっています。

郵便局で受けることを希望された場合は、各支払月に社会保険庁からあなたのところに「国民年金支払通知書」が送られます。

通知書の「受領証」の欄に記名、押印されて、支払開始日以降に国民年金証書といっしょに、きまった郵便局へ持って行けば年金が受けられます。

市民課年金係

戦没者遺族の相談員を設置

戦没者遺族のみなさんの相談ごとに応じるため、戦没者遺族相談員ができました。相談員を各市町村ごとに1名あて配置したことは全国でも高知県が始めてで、その成果が注目されています。

相談員のあっかいます主な相談ごとは、戦没者遺族の

①各種年金、給付金などの受給のことについて

②生活上の問題について

③社会福祉施設の利用のことについて

などです。

市の相談員は次の方です。

西山三重（にしやまみえ）

南国市片山

（市社会福祉協議会勤務）

福祉事務所社会係

引揚者交付金の請求

引揚者特別交付金の請求期限が一年延長され、四十七年三月三十一日までとなりました。

該当される方は、早急に手続きをしてください。

福祉事務所社会係

老人福祉の作文と論文募集

豊かな老後を実現するためにはどのように考えていけばよいでしょうか。

県では、県民の考えを老人福祉施策の計画をつくる参考にするため作文と論文を募集しています。

（内容）中学生「敬老について」

一般「老人の生活を充実するための私の意見」六十五歳以上の人「老人の心構えについて」

（締切日）八月五日

（その他）くわしいことは県厚生労働部厚生課、市福祉事務所まで

市街化区域を縦覧

都市計画による市街地の道路と用途地域が決まりましたので、縦覧します。七月二十八日より八月十日まで。　建設課建築都計係

市民のみなさんへ

このたび、保険医総辞退が決行されることになりました。保険診療のありかたについて、いろいろと、誤解され、みなさま方は、不安な毎日を送っておられることと思います。私たちは、市民のための医者であり、医療をすてているのではありません。総辞退が六月一日に公表されてから、一ヵ月の間に政府と組合は医師会に対しもっと積極的に、話し合いをもつべきであり、保険者は、治療をうける前に、みなさん方にお金をかしたり、なんの不便も感じないよう用意すべきであったと思います。

治療費については、職場の事業所にご相談ください。診療後にもらった領収書は、組合の保険事務で、すぐに払いもどしをしてくれます。なおご不信の点がありましたら、主治医か、もよりの医師にご相談ください。病気になったら今までどおり、ご心配なく、医師のもとへおいでください。医者も患者もともに、満足のできる保険制度が一日も早くできるよう、みなさま方のご協力をお願いします。

南国市医師団

世界は一つ

日本の国は、明治以前、二百あまりの大名が、それぞれ一国をなし、軍備や兵力をもっていました。そのため、国内での戦争がたえませんでした。

それが百年前、坂本竜馬たちの活躍で、各藩は軍備を天皇のもとに返し、日本国軍となりました。

政府は、藩を廃止し、県を置きこれにより日本国内での戦争はできなくなりました。

しかも、各県は議会、知事を選んで自治体を形成し、特徴のある発展をしています。

このやり方「廃藩・置県」を世界、地球規模でやろうというのが

世界の「ハイハン・チケン」

「世界連邦」運動です。

各国は、国連を改造した世界政府に軍備をゆずり、世界は世界法という法律で各国から比例代表および適当な方法により選ばれた議員と大統領によって治められます。

世界の治安は、世界政府軍により維持され、各国（州）は、それぞれ議会を持ち首長を選んで運営されることになります。

百年前の日本国内に比べて、世界の通信、交通がケタ違いに発達し、各国民の交流が急速度に高まっている現代「世界連邦」実現の可能性は、ますます大きくなっています。

広報なんこく

昭和四十六年七月二十五日発行（毎月一回発行）

編集　南国市広報委員会

発行　高知県南国市東崎一、三五五の一　南国市役所内（電三―二二一一）

印刷　南国市後免町　川北印刷株式会社